

「私の言葉を聞け」

マイケル・スキャンラン神父を通して 1980 年に与えられた預言

リニューアル・ミニストリーズ・スタッフ | 2020 年 6 月 22 日

マイケル・スキャンラン神父を通して与えられた以下の預言は、[ニュー・カヴァナント誌](#) 1980 年 5 月号にケビン&ドロシー・ラナガン夫妻が執筆した記事で共有されました（リンク先の 769-772 ページを参照）。

主なる神はこう言われる。「私の言葉を聞け。私の祝福と賜物が際立った時は、今や、私の裁きと清めが際立つ時期に取って代われようとしている。私が祝福と賜物によって成し遂げていないことを、私は裁きと清めによって成し遂げる。

私の民、私の教会にはこの裁きが何としても必要である。彼らは世の霊と姦淫を行い続けている。彼らは罪に感染しているだけでなく、罪を教え、罪を受け入れ、罪を見くびっている。彼らの指導者たちは、これに対処できていない。教会の上から下までいたるところで分裂と混乱がある。サタンは行きたい所に行き、思いどおりに人を選んで感染させている。サタンは、私の民のどこにでも自由に出入りしている。私はこれを許さずにはおかない。

この刷新で特別に祝福された私の民は、私の洗礼の霊の下にいる以上に世の霊の下にいる。彼らは、私への恐れや私の言葉に不忠実であることへの恐れから物事を決定する以上に、他人からどう思われるかという恐れ、つまり世で失敗し拒絶されることへの恐れ、隣人や目上の人や周囲の人の尊敬を失うことへの恐れから、物事を決定している。

それゆえ、あなたがたの立場は極めて弱い。あなたがたの力はとても限られている。今の時点では、あなたがたを今起こっている戦いや争いの中心にいる者たちと考えることはできない。

だから今、この時があなたがた全員の上に来ている。これは裁きと清めの時である。罪は罪と呼ばれるようになる。サタンは仮面を剥がされる。忠実本来あるべき姿として掲げられる。私の忠実な僕たちが姿を現し、集まって来る。彼らの数は多くはない。それは困難だが必要な時となる。世界中で崩壊が、困難があるだろう。

しかし、もっと問題なのは、私の民の間で清めと迫害が起こることだ。あなたがたは自分の信じるもののために立ち上らなければならないだろう。この世と私との間で選択しなければならないだろう。あなたがたは、どの言葉に従うか、誰を尊敬するかを選ばなければならない。

そして、その選択の中で、祝福と賜物の時まで成し遂げられなかったことが成し遂げられるであろう。私の霊による洗礼と霊的賜物の満ち溢れによって成し遂げられなかったことは、火の洗礼によって成し遂げられる。火はあなたがたの間を動き回り、もみ殻を焼き尽くす。火はあなたがたの間を個人として、組織として、集団として、世界中で動くであろう。

私は今起こっている状況を許さずにはおかない。賜物と恵みと祝福を不忠実と罪と売春と混ぜ合わせるといふ姦淫を行うことを私は許さない。私の時は今、あなたがたの間にある。

あなたがたに必要なのは、私の前に進み出て、私の言葉に完全に服従し、私の計画に完全に服従し、この新しい時間において完全に服従することである。あなたがたに必要なのは、自分の物事、過去の物

事を捨てることである。あなたがたに必要なのは、この裁きと清めの時に照らして自分自身とあなたがたが責任を持つ人々を見ることである。そのように彼らを見て、彼らが強く立ち、私の忠実な僕として数えられるために、彼らのために何をすれば一番助けとなるかを考えなければならない。

犠牲者が出るだろう。容易ではないが、必要である。私の民は真に私の民でなければならない。私の教会は真に私の教会でなければならない。そして、私の霊は真に清い命を、福音に対する純真で忠実な心をもたらさずにはおかない。」

日本語訳・秋元伸介、小熊晴代